

◆ゲーム規定

- 集合 試合開始30前に選手は集合してること。
- 試合回数 5回 先攻・後攻はジャンケン
- 時間制： 全試合70分（決勝含む）
- コールド：コールドゲームは設けない。
- 同点時： 時間切れ終了で同点の場合→特別延長戦へ
5回終わって同点の場合→特別延長戦へ
- 試合成立 3回完了時とします
- 投球制限 1試合60球までとします。双方のスコアラーがカウント。50球の時点で球審に申告。
【共通】
- 特別延長：継続打順・無死ランナー1、2塁・1回のみおこなう。
- 抽選： 特別延長で決着がつかなかった場合、監督同士でじゃんけん（1発勝負）

◆ピッチャー関連

- 投球制限：『1人1日60球までとするが【特別延長の場合5回終了時点で60球に満たない投手の登板を認める】』
- 投手に関わるシート変更：たとえ同一イニング中でも無制限とします。（打者1人に投げる義務はある）
- 『監督が同一投手のもとへ同一イニングに2度行けば、投手交代（降板）しなければならない』：
このルールが適用されて降板する投手に限り、そのイニング中の再登板は不可能です。（全軟連規定どおり）
- 投手が手に息を吹きかけること、カイロを所持すること、ボールをユニフォームで拭くことを認めます。
- ネックウォーマー・サポーター・テーピング・絆創膏 等を認める。（※投手以外は制限ありません）

◆作戦タイム関連

- 作戦タイムの制限は簡略化し、各チーム1試合につき『守備中・攻撃中 各3度まで（特別延長戦は1イニングに各1回まで）』とします。選手のみでも監督が加わっても一律にカウントします。
捕手と投手2人きりでもカウントします。タイムのカウント判断と管理は、グラウンド上の球審がおこないます。
- 監督が投手のもとへ行く場合は、駆け足で投手板付近に集まってください。

◆監督コーチ関連

- 審判への抗議・確認と選手の交代通告は、監督のみに限定します。
ただし、ボール・ストライクに関する裁定（変化球判断を含む）への抗議は一切不可です。
- ベースコーチは登録選手のみとします。ベースコーチ不在の状態でも試合はそのまま進行させます。

◆グラウンドルール

- 試合開始まえに審判員に確認してください。

◆試合結果報告

- 試合終了後は勝敗にかかわらず必ず試合結果を本部に立ち寄ってください。

◆その他

- 背番号は0～99番（30・29・28は除く）ですが主将は「10」番とします。（重複は不可）
- ランナーコーチは登録選手のみとします。（監督コーチは不可）
- 記載されていない事項に関してはその都度大会役員に確認してください。

- ★上記以外は別紙に定める特別ルールと（公財）東京都軟式野球連盟大会規程を流用する。